

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート							No.	30-6																																	
PDCA	主要事業名	コミュニティ・スクール推進事業	部課名	教育部学校教育課	担当	渡辺																																			
					内線	520																																			
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 1 - 3 単位施策： 義務教育 全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 7,107 千円 会計 一般会計 歳出科目： 09.01.03.02.56							目標項目（予算計上時に作成）																																	
	事業概要等	事業概要： 学校運営に地域住民も積極的に参加し、地域と協働でよりよい学校づくりを行う。							予算見積書で活用																																
		事業目的： 地域と学校の協働体制を構築し、教育活動等の活性化を図る。																																							
		事業内容： コミュニティ・スクール事務局委託料、提案事業助成金、活動紹介・啓発用チラシ作成、委員謝金の支払いを行う。																																							
		問題点・課題 学校と地域、行政における共通理解を図ること。また、活動の推進のための人材発掘に努める必要がある。																																							
	予算額	主要事業とする理由																																							
	7,107 千円	地域住民との連携、協働を行うことにより、学校運営、教育活動等の活性化が図られ、よりよい学校運営につながるため。																																							
	財源内訳																																								
	市費	得られる成果																																							
	3,554 千円																																								
	国費	学校運営に地域住民が参加し、地域との協働でよりよい学校づくりを行うことにつながる。																																							
	3,553 千円																																								
	県費	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値や目指すべき状態</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">コミュニティ・スクールの活動回数</td> <td>実績値 45</td> <td>52</td> <td>—</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>目標値 50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								目標値や目指すべき状態	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	コミュニティ・スクールの活動回数	実績値 45	52	—	日	目標値 50	50	50	日		実績値				目標値				その他	実績値				目標値			
	目標値や目指すべき状態	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位																																				
	コミュニティ・スクールの活動回数	実績値 45	52	—	日																																				
目標値 50		50	50	日																																					
	実績値																																								
	目標値																																								
その他	実績値																																								
	目標値																																								
0 千円																																									
その他																																									
0 千円																																									
D 実績値	決算額	得られた成果						主要施策の成果報告書で活用																																	
	6,280 千円	全ての小中学校において学校運営協議会を開催・運営し、地域とともにある学校づくり・学校とともにある地域づくりを進めることができた。																																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>令和4年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">コミュニティ・スクールの活動回数</td> <td>実績値 56</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>目標値 50</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							成果指標	令和4年度	単位	コミュニティ・スクールの活動回数	実績値 56	日	目標値 50	日																									
	成果指標	令和4年度	単位																																						
	コミュニティ・スクールの活動回数	実績値 56	日																																						
		目標値 50	日																																						
C 課題の整理	事業の評価・課題	B コロナにより活動が制限される中、学校と地域が連携・協働し、米作り体験授業（田植え、稲刈り等）や交通教室、家庭科の裁縫指導、ホタルの放流など、特色ある学校づくりを進めることができた。 地域によっては、推進委員の高齢化や協力者の人員不足を課題に掲げているため、人員確保対策を講じる必要がある。																																							
A 課題の決方向性	今後の事業の方向性	改善推進 地域に根差した特色ある学校づくりを進めるため、学校と地域の連携・協働体制のさらなる充実を図る。協力者の人員不足等については、保護者等に対し協力の呼び掛けなどを行っていく。																																							
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																			
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 あり																																					
		②市民ニーズ —	⑤成果向上の余地 あり	余 地 ※対象・手段の変更																																					
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 あり	⑧受益者負担適正化余地 ない																																					